

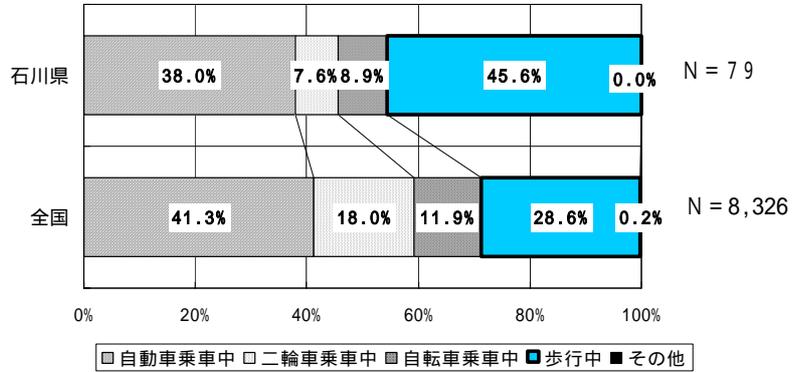
指標 7

通学路安全率

現状と課題

歩行中に多い死亡事故
石川県では、歩行中の死亡事故の割合が高い。

状態別交通事故死者数の割合 (H14)



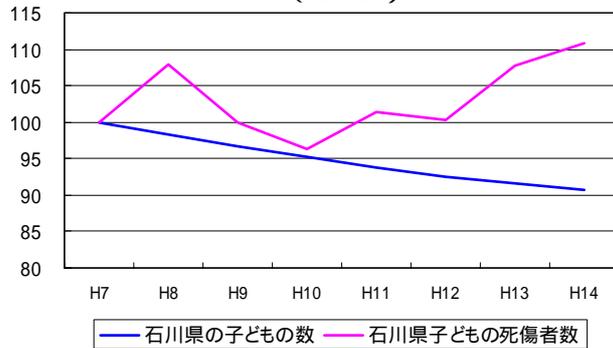
資料；石川県警察本部「いしかわの交通統計」

増加する子どもの死傷者数

石川県の子どもの数は年々減少傾向にあるが、交通事故死傷者数は、近年増加傾向にある。

子どもとは、幼児、園児、小学生、中学生をいう。(幼児は未就学児童であって、かつ幼稚園、保育所に通園していない者)
第1当事者、第2当事者の合計

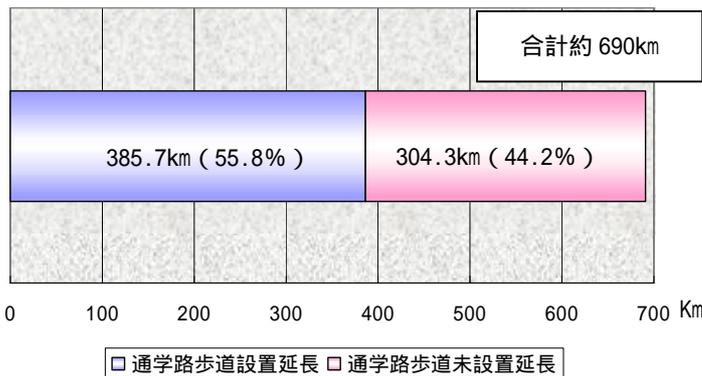
石川県の子どもの数と子どもの死傷者数の推移 (H7=100)



資料；石川県警察本部「いしかわの交通統計」

通学路歩道設置状況

通学路の総延長 690km のうち、歩道未設置区間は 304.3km (44.2%) に及ぶ。



(一)久江鹿西線 鹿西町徳丸地内



(一)倉部金沢線 米泉町地内

取組みの方向性

通学路における歩道整備を進め、歩行者空間の確保を図るとともに、子どもたちが安全に通学できる生活環境の実現を目指します。

また、その整備に際しては、自転車や車いすの方々も快適に通行ができるよう、幅の確保や段差の解消などバリアフリー整備を目指します。



(一)上安原昭和町線 金沢市薬師堂町地内

取組みの成果指標

通学路安全率を示す指標として、通学路における歩道整備率を採用しました。

$$\text{通学路安全率} = \frac{\text{歩道が整備されている延長}}{\text{通学路延長}}$$

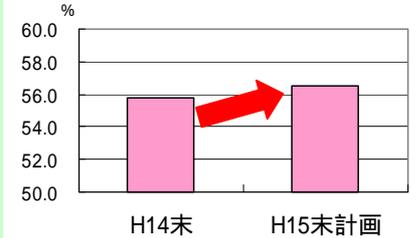
* 対象道路：国道、県道のうち、通学路に指定されている路線の延長約 690km

* 歩道が整備されている延長とは、通学路のうち、車道と分離された歩道が整備されている延長

通学路安全率の向上に向けた平成 15 年度の成果目標

通学路安全率を、H14 末 55.8%から H15 末 57.0%へ、約 1%増加させることを目指します。

項目	H14 末	H15 末計画	増
通学路安全率	55.8%	57.0%	1.2%
(整備延長)	(385.7km)	(393.7km)	(8.0km)



H 1 5 年度に供用を予定している主な箇所

路線名	箇所名	延長	整備内容
国道 160 号	七尾市佐味	0.2km	歩道整備 (幅員 3.5m)
国道 249 号	穴水町中居～比良	0.1km	歩道整備 (幅員 3.5m)
(主)小松山中線	加賀市森～上野	0.1km	歩道整備 (幅員 3.5m)
(一)倉部金沢線	金沢市西金沢	0.1km	歩道整備 (幅員 3.5m)
(一)松本木津線	松任市松本～笠間	0.3km	歩道整備 (幅員 3.5m)

安全な歩行空間の見込み

延べ 8.0 km の整備により、通学等の歩行者の延べ約 8,300 人の方に、新たに安全な歩行空間を提供することとなります。

みちづくりと交通規制の連携

道路整備と交通規制を面的かつ一体的に実施する「くらしの道ゾーン」の設定など、整備と規制の効果的で効率的な連携を推進しています。平成 15 年度は、野々市町本町地区を指定し、新たに事業を進めていくこととしています。

歩行環境が不十分
(野々市町本町地区)

